

KSP-POS マーケットトレンドレポート

Vol.27

発行日 2011年9月9日

2010「猛暑の夏」VS 2011「節電の夏」

**全国的に来店頻度減少も買上点数が増加
昨夏の猛暑から一転、今年の特需カテゴリーは「缶詰」**

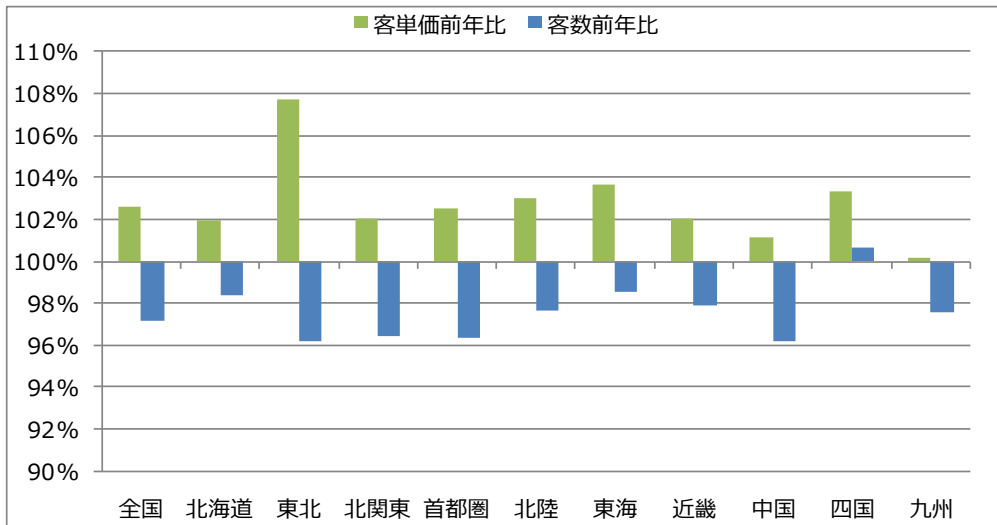
株式会社KSP-SPは2011年夏のスーパーマーケットにおける、食品カテゴリー毎の販売状況について調査しました。

客単価は全国的に上昇、来店頻度は減少傾向

KSP-SPの収集する食品スーパー約850店舗で集計した客単価、客数の前年比は全国でそれぞれ102%、97%となっており、各地区においても客単価が上昇し、客数が減少している。来店頻度が減少したためと考えられ、それにもない買上点数は若干増加している。

東北地区は商品単価の上昇が相乗効果となり他地区以上の客単価の上昇がみられ、九州地区は昨年来の特売増加傾向の継続による客単価下落圧力が結果に表れている。

KSP-POS 地区別 2011年7-8月 客単価（生鮮を除く）・客数前年比



震災後「節電の夏」に伸張したカテゴリーは「缶詰」 昨夏の反動で「氷」、「アイス」、「ドリンク」は前年割れ

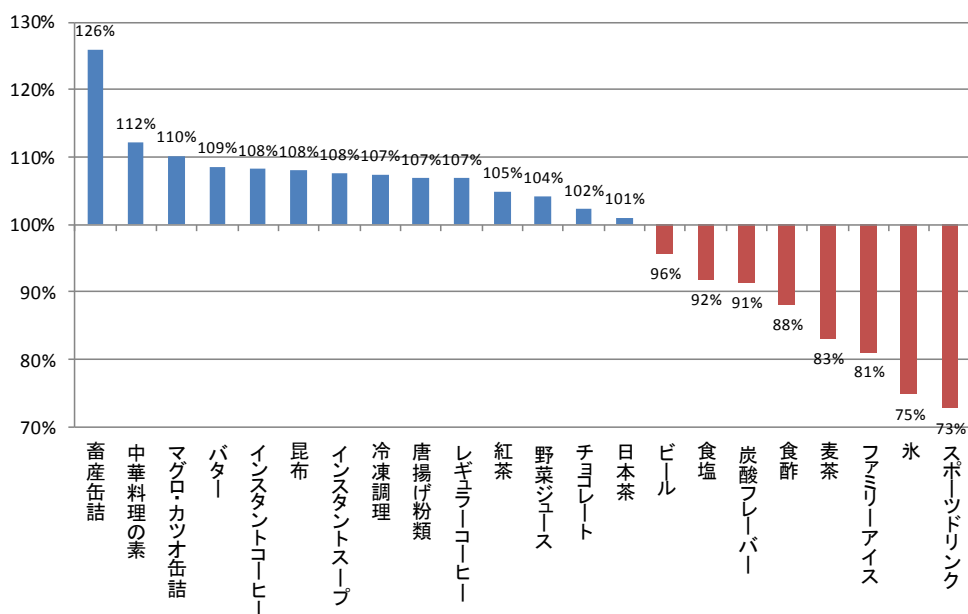
2011年8月の全国カテゴリー毎金額の前年同月比を調査したところ、下図のような結果となった。

エアコン全開となっていた昨夏の猛暑から一転、東北・関東地区にとどまらずほぼ全国的に節電が求められた夏となった今年だが、昨年特需となった「氷（前年同月比75%）」、「ファミリーアイス（81%）」、「麦茶（83%）」といったカテゴリーは軒並み前年割れとなっている。逆に、「インスタントスープ（108%）」、「インスタントコーヒー（108%）」と、ホット系カテゴリーは伸張した。

一方、「畜産缶詰（126%）」、「マグロ・カツオ缶詰（110%）」といった缶詰カテゴリーが伸張しており、震災以降お手軽メニューの増加とストック型商品にもなるという商品特性から販売を増やしている。

また、「紅茶（105%）」、「日本茶（101%）」と、茶葉カテゴリーの比較では「紅茶」の伸張率が高い結果となった。

KSP-POS 全国 11年8月 金額前年同月比 カテゴリー毎比較



調査概要

POSデータ：KSP-POS月次・週次データ

期間：2010～2011年 各年7～8月など

地域/店舗数：全国 約850店舗

* KSP-POSは全国150社約850店舗の食品スーパーから収集した販売情報データベースです。